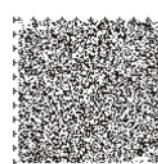


大牟田市健康福祉総合計画概要版

うすうすしぇる?



Uni-Voice

「う
ず
う
ず
」つ
て
な
に
?

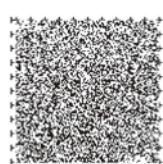
「大牟田市健康福祉総合計画」の大切な部分を伝えるために、この冊子「うずうず」を制作しました。

計画の中心である「人が真ん中のまちづくり」では、大牟田市に暮らす誰もが、誰かに言われたからではなく、“自分から”なにかを始めたくなったり、健康や食事を気遣うようになったり、地域の活動に参加したくなったりすることが大切だと考えています。

この「なにかしたくなる気持ち」とは、つまり「うずうず」しているということです。

「うずうず」についてもっと考えたくて、大牟田市に住む、年齢や性別などは様々な4人の方を取材しました。取材を通じて見えてきたのは、一人ひとりの中に小さな火のようにある「うずうず」。やりたいことがあってじっとしていられなかったり、実現したいことがあるのにもどかしかったり、大好きで落ち着かなかったり。そしてその話をする時には、みなさんちょっと声が大きくなり、アクションが大きくなるのです。

この冊子を通じて、「うずうず」について、そして「うずうず」が大切にされるまちについて考えてみてください。



あお き あけ み 青木明美さんの 「ず」



楽しいことには
いつも体当たり♥

女子プロレスラーになりたかった。

将来は女子プロレスラーになりたかったんです。長与千種さんに憧れて、部屋にはポスターがいっぱい。水着でポーズを真似したりしてね(笑)。かっこよかったなあ。聞こえないと難しいということが次第にわかってきて、プロレスラーの夢は叶いませんでした。

生まれつき耳が聞こえなかったため、小学校から寮に入り、熊本のろう学校に通いました。おでんばで、女の子より男の子と遊ぶ方が楽しいタイプ。運動がとても得意でした。反対に勉強は苦手。というのも、当時のろう学校の先生は手話ができず、先生の口の形から意味を読み取らなくてはならなくて、理解できないうことが多いかったです。

運動が得意だったので、障害者のスポーツの全国大会に出場し、水泳や陸上で金メダルを4つもらいました。これは私の自慢です。

一人の女性で変わった職場環境。

子どもを3人育てながら九州松下電器で18年間勤めました。部品の組み立ての仕事は私に合っていたみたいで、楽しかったです。最初の2年くらいは、同僚のみんなとコミュニケーションをとるのが難しかったのだけど、ある女性が手話を勉強してくれて…。それからは多くの人が聞こえないことを理解してくれ、みんなと身振りや筆談を交えていろんな話ができるようになりました。彼女のおかげで職場の環境ががらりと変わったんですよ。

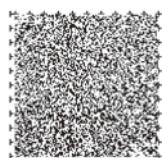
マシンガン手話トーク!

私ははやくから寮に入り、両親が手話がわからなかつたこともあって、家でたくさん話すということができませんでした。いまは娘の美音が手話を覚えてくれて、とてもうれしい! 美音は自然と手話を覚えたようです。私が両親と話す時にも通訳をしてくれて、以前よりたくさん話すことができるようになりました。

おしゃべり大好き! 話したいことがたくさんあって、美音やろうあ者と一緒に話が止まらなくて、手話がすごい速さになります。見ている人たちからは「けんかしてるの?」と言われるほどの勢いみたいです(笑)。

スロットや韓流ドラマの
ドキドキに夢中。

お休みの日には、ゲームセンターでスロットなどのゲームをしたり、家で韓流ドラマを見たりして過ごすのが楽しみです。ドキドキハラハラするのがたまらない！ スロットで、最後の柄を合わせる時のドキドキ感も興奮するし、韓流ドラマの復讐劇のどんでん返しも胸がスカッとしますね。いま思えば、小さい頃にプロレスが好きだったのも、あの勝負のスリルに魅力を感じていたのかもしれませんね！



本梅伍乃さんの 「うずうず」



数学の問題を解くのが楽しい。

昔から数学が得意でした。みんなが分からぬ問題を解くのが楽しくて、学校でも先生が教える以外の解法を探したりもしていました。いま有明高専では建築学を専攻していますが、なかでも構造計算をするのが好きですね。例えば、どのくらいの太さの柱が何本あれば建物を安全に建てることができるか、などを計算するんです。建築には欠かせない内容ですが、これが好きな人はあまりいません。変わり者って言われます(笑)。

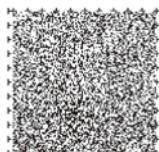
思ったより、できたりできなかったりの一人暮らし。

入学して4年間は寮に入っていましたが、今はアパートを借りての一人暮らしです。「自炊とか余裕」と思っていましたが、最初は全然(笑)。ネットで見ながら学んで、今ではけっこう作ります。冷凍の唐揚げを使って、卵でとじた唐揚丼が得意です。栄養にも気を使って、野菜ジュースを飲んだりもしています。

モノによって安い店が違うので、スーパー やドラッグストア、コンビニなどを使い分けますし、LINEのクーポンをチェックして安い時に買うようにしています。意外とこまめにお金の管理もしています。

今ではすっかり大牟田の住民に。

実家は福岡市内なので、最初に大牟田に来た時は田んぼばかりでびっくりしました。寮に入ったこともあって友達がいたので、最初はみんなで自転車に乗ってあたりを探検しました。なので意外に地元の子よりも道を把握していて、親が遊びに来た時にナビをしたりします。「こっちの方が車が少なくて速い」とか。



なにしろ住民6年目ですから。

実家にたまに帰ると、母が好きなごはんを作ってくれます。カツ丼を3合とか食べて、食費泥棒って言われます。でもきっと母も作りがいはあると思ってるんですよ。悩みごとがある時は、すぐに親に電話。あと先生たちにも「どう思いますか?」と相談します。自分一人で考えている時間があったら、人生経験が多い人に相談したほうが早いと思ってるんです。合理的ですかね?(笑)

でっかいものを作りたくて。

平日はバイトを5つ掛け持ちして、休日

には、久留米まで一級建築士の資格試験のための学校に通う日々。確かに忙しいです、けどやることがないよりもいいかな? 住宅などの仕事であれば二級の資格で十分なのですが、僕はビルなどの大きな建築物を目指しているので。すごい難関です。

東京スカイツリーを作った会社で働きたいんです。ご存知ですか、大林組というところです。あー、働きたいなー。一級建築士の資格が取れたら、大嫌いだけど英語の勉強を始めようかなと思っています。きっと大林組だったら、海外で働くこともあると思うので。

こがとみこ 古賀富子さんの 「うずうず」

話
か
き
し
て
な
い
と
豆
の
話
まだあるの。



ヒット連発
おしゃべりチ本ノック！

お豆は、つくるのも
食べるのも好き。

近くに畑があって、お豆をね、育てています。ピースやらスナックやらさやえんどうやら。おかげさまで100歳になりましたが、この1年くらい畑仕事ができなくなってしまった。まだしたいんですけどね。様子を見るだけでも楽しいです。午前中に行って、帰ってきたら、夜はよう寝ます。体は動かすとおなかも減りますしね。

お豆は春くらいから採れます。ごはんに入れたり、ゆがいてそのまま食べたり。たくさん採れたら、ご近所におすそ分けして喜んでもらったりします。

監督の采配が当たると楽しい。

年をとってからテレビでスポーツを見るのが好きになりました。おすもうやらいいろいろ見ますが、一番楽しみなのが野球。いつもは早く寝るけど、10時くらいまで起きています。お向かいのいちゃんが、「おばちゃーん、今日はBSで野球があるよ」と教えてくれるけど、朝から新聞で見てもう知っているの(笑)。次は選手は誰が出るかなーと予想

しどって、その人が出るとおもしろかです。

得意なこと、いろいろ。

昔から手を動かすのが好きで、刺繡が得意。もうね、いまは目がいけなくなつたんだけど、フランス刺繡、文化刺繡、日本刺繡、どれも楽しかった。人に見せたことはないんだけど、これ、女学校の時に作ったものです。85年ぶりに見ていただくことがあるなんて、残しておいてよかったです。



女学校には、1時間かけて自転車で通いました。自転車も得意で、朝鮮に住んでいた小学校の時に買ってもらって、それから80歳くらいまで乗りました。孫を前後ろに乗せて、幼稚園の送り迎えしたりね。80歳で、もうみんなに乗るのやめてって言われてやめました。

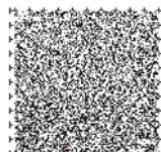
70歳から、娘といっしょにいろいろ外国に行きました。オーストラリアの、大きな岩があるでしょう？あれに娘が

登るというから、私は待ってたんです。そうしたら周りにも待っている人たちがいてね、「トウキョウ」「ジャパン」なんて話しました。片言でできるしこね(笑)。

今日は100年に一度のことでした。

今日はお友達に手紙を2通書きました。最近は長い手紙を書くのは目がいけないので、はがきだったら短くて書けるんです。電話だとよう伝わらんことが多いから、いまでも会いにでかけることは多いです。言い忘れたことは、帰ってからお手紙にします。耳がもう少し聞こえたらいいと思うけど、仕方ないですね。でもいまが一番楽しいです。

今日は好きなことばっかりしゃべって。誰にも言うとらんようなことを話しました。お茶会に行っておもしろいから話そうと思つても、話があわんですもん。こんなに話を聞いてもらえるなんて、100年に一度のことでした。



椎原春一さんの 「アザアザアザア」

動物の幸福した場所といふ
尊いところ

考え続ける。



少女漫画が好きだった。

子どもの頃は動物園で働くことになるとは、思ってもいませんでした。動物生態学者か詩人か哲学者になりたかったのです。高校生の頃は、大島弓子や三原順などの少女漫画に熱中しました。日常がなにか不思議なものとつながっている感覚がよくて、それは少年漫画にはなかったから。中学校の壁新聞では物語を連載していたことも。人間が動物たちの裁判にかけられて有罪になっておしまい、という救いのないお話。いま振り返れば、三つ子の魂百までという感じですね(笑)。

コロナ禍で動物のうずうずが分かるように。

大牟田市動物園で働く前は、40代の妻子ある身で2年間のフリーター生活を送りました。時給がいい夜間のコンビニで働いたりね。動物福祉(※)に取り組みたかったのに、なかなかできる場所がなかった

んです。根が楽天的なのか、どうにかなるかなぁと思っていましたけど。

大牟田市動物園で園長として働くようになって、ようやく少しずつ動物福祉に取り組めるようになりました。動物園は、本来は野生の中で暮らしている動物を限られた環境の中で飼育する、とても矛盾した施設です。が、動物と関わる以上は、この矛盾にあがき続けなければならない。コロナ禍で「ステイホーム」を強いられて、みなさんもストレスを感じているでしょう。実は動物園の動物たちは、今の私たちのように「本来やっていたことがすべて奪われている状態」。いまこそ人間は、動物のうずうずに共感できますね。

お客様が変わって、動物園が変わった。

大牟田市動物園では、展示部屋の奥にも部屋があり、動物たちは好きな時に出入りできるため、動物が見えないことがあります。できるだけ動物に負担をかけず、本来の姿に近い暮らしをしてほしいとの試みからです。この園を訪れるお客様が優しいのは、会えないことを納得

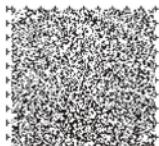
してくれること。私たちが動物福祉に取り組めるのは、お客様が変わってくれたからこそです。「なかなかレッサーパンダと会えない」なんてぼやきつつ何度も足を運んでくれるなんて、すばらしいですよね。

目指す幸せのビジョンとは?

人間も動物も、目指すウェルビーイングの方向はなんとなく分かっても、「これ!」と言い切ることは難しい。はっきり決まってしまうと、それを強制してしまうことになりかねないので、ビジョンはぼんやりさせておく方がいいのかもしれません。

ただ私は動物園で「倫理的にやりたくないことをやらなくてよい」状況を少しずつ作ってくることができて、精神的にはいぶん穏やかです。同じ仕事でも、動物のためになる、世の中のためになると思えることは、心によいようです。それは一緒に働いているスタッフや、来園者のみなさんもそうではないのかなあ。

※動物が精神的・肉体的に充分健康で、幸福であり、環境とも調和していること。



一人ひとりの「うずうず」を大切にするために

「うずうず」の生まれ方。

「うずうず」は、自分一人の中から生まれてくるものとは限りません。友人と話していて、YouTubeで興味を持って、地域の人々にすすめられて、本を読んでなど、自分の周りから知らずしらずのうちに刺激を受けて、やりたい気持ちになっているのかもしれません。「うずうず」が芽生えるには、周りの環境が整っていることが重要なのです。

なぜ「うずうず」はなかなか実現できないの?

「できないのは本人に理由があるんだ」。そう思ったことがある人がいるかもしれません。ところが、考えてみてください。話を聞いてくれる人や学ぶ環境、困った時の相談先や、安心して一緒に活動できる仲間がいれば、できることはずいぶん増えると

思いませんか?

実は「うずうず」を發揮する上での障害は、社会の側にあります。すべての人達がなにかやりたい気持ちを持ち、それを大切にし、実現するためには、社会の側が変わらなければなりません。

みんなの「うずうず」を
大切にできる大牟田市に。

大牟田市は、誰もが持つ「うずうず」が大切にされ、発揮できるまちでありたいと考えています。そこで、健康福祉総合計画を作りました。多くの人がこの計画の考え方を理解し、行動することで社会が変化します。そこでは、あなたの「うずうず」を大切してくれる人や場があります。そしてあなたもまた、誰かの「うずうず」を叶える手伝いができるかもしれません。

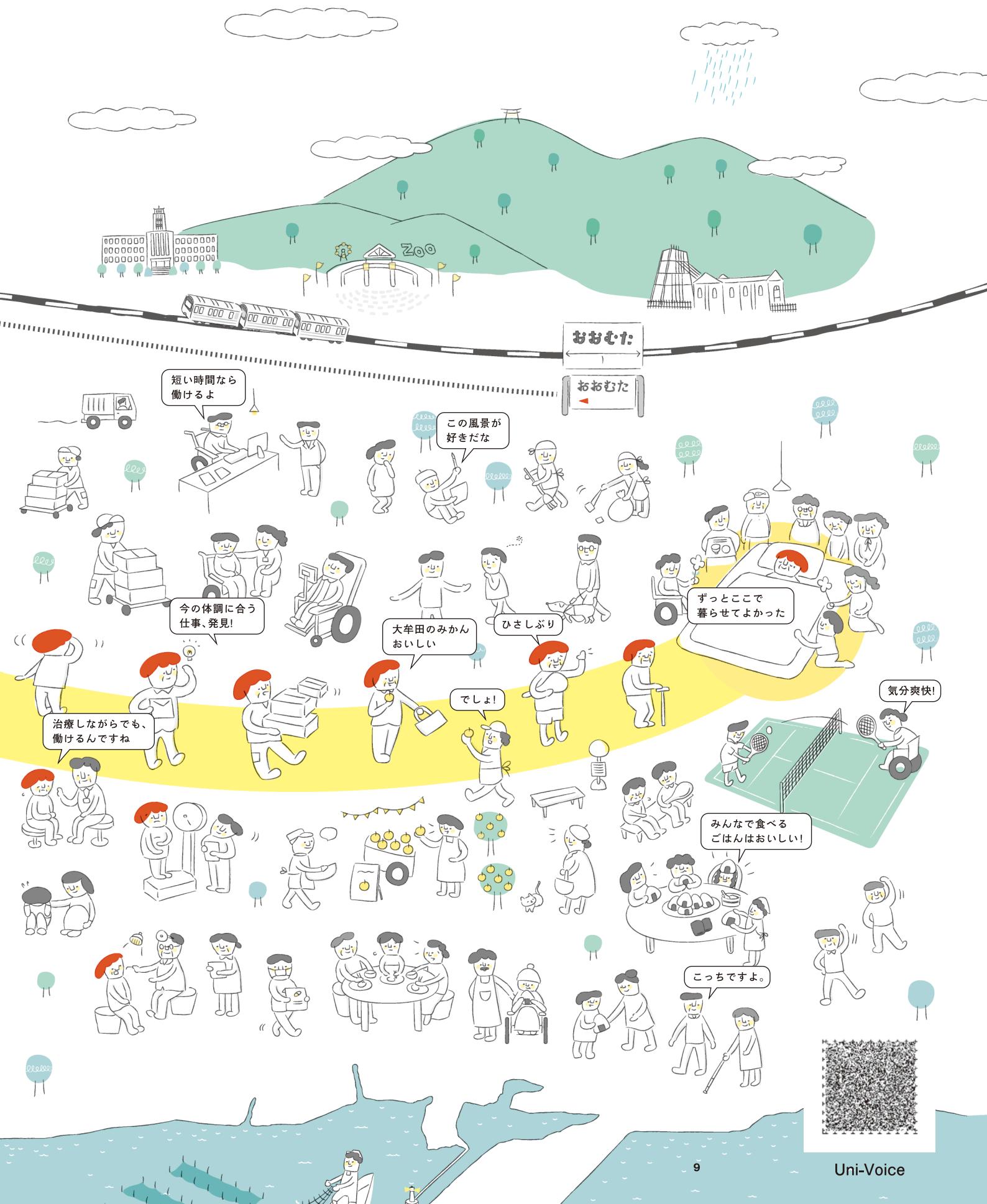


これが、大牟田市が

大牟田市では、「人が真ん中のまちづくり」を進めています。誰もが、将来にわたって安心して暮らし、大牟田市に住んでいることを自ら誇ることができるまちを、市民のみなさんとともに創っていきたいと考えています。これが実現された大牟田市では、すべてのひとが身体的・精神的・社会的に満たされ、豊かに暮らしています。



目指す社会の姿です。



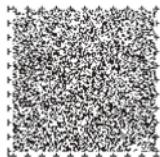
これが、「大牟田市 健康

大牟田市では、これまで障害や高齢、健康、食育等の分野別に施策を進めてきました。このたび、地域共生社会をつくるという観点から見直し、分野を横断した総合的な取組みやライフステージに応じた各事業を一体的に推進していくため、計画そのものを統合することにしました。

統合した計画は、以下の通りです。地域福祉計画、自殺対策計画、障害者計画、障害福祉計画・障害児福祉計画、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、健康増進計画、食育推進計画です。ここでは、健康福祉分野の各種計画を統合した、「大牟田市健康福祉総合計画」を紹介します。

基本理念

誰もが安心して
健やかに暮らしながら、
持てる力を生かし、
社会的に孤立することなく
参加できる社会を実現する



福祉総合計画」です。

基本目標

一人ひとりが尊重され、安心して相談できる社会

1

そのための施策

- (1) 包括的な相談支援体制の構築
- (2) 権利擁護体制の充実
- (3) 同じ立場や課題を経験した人同士の支え合い・居場所の充実
- (4) 包括的な自殺予防体制の構築

基本目標

健康的で、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会

2

そのための施策

- (1) 誰もが参加できる健康づくり・疾病予防の推進
- (2) 食育に関する実践力向上
- (3) 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるためのサービスの提供
- (4) 福祉・介護人材の育成・確保

基本目標

誰もが多様なきっかけや、つながりで参加できる社会

3

そのための施策

- (1) 幅広い参加・就労機会の創出
- (2) 社会参加を実現するアクセシビリティの向上
- (3) 教育の充実・学習活動の促進
- (4) 住まいの確保と生活支援の充実

基本目標

新たな担い手が生まれる持続可能な社会

4

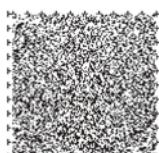
そのための施策

- (1) 安心して暮らせる地域づくり
- (2) 地域コミュニティの活性化と新しい「公」の担い手づくり

●計画の中では、さらに「障害分野」「高齢分野」「健康増進・食育分野」について章を設けて、より詳細なデータや課題を掲載しています。

●さらに別冊として、障害福祉・介護サービスの見込み量等を掲載した障害福祉編と介護保険編を作っています。

●「大牟田市健康福祉総合計画」についてもっと知りたい方は、右の二次元コードから大牟田市のホームページをご覧ください。





大牟田市健康福祉総合計画 概要版

づなづな

令和3年3月

発 行 大牟田市

企 画 ボニボニ（大牟田未来共創センター）

編集執筆 nicoedit

イラスト 中島 彩（表紙～P7）

長末香織（P8～11）

デザイン YANAGI DESIGN

問合せ先 大牟田市保健福祉部福祉課総務企画担当

〒836-8666 大牟田市有明町2丁目3番地

電 話 0944-41-2668

F A X 0944-41-2675

メ ール e-fukushi01@city.omuta.fukuoka.jp

